

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 キッツメタルワークス					
代表者名	氏名	中嶋孝興	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県茅野市宮川字小早川7377番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	23 非鉄金属製造業				
主たる事業の概要	伸銅品及び加工品の製造・販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	10703	10382	10969	10929	10894
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	22693	22012	23300	23234	22727
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	5		5	5	5
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	37				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成	28	年度
------	----	----	----

計画期間	平成	29	年度～	平成	31	年度
------	----	----	-----	----	----	----

報告対象年度	平成	31	年度
--------	----	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	問い合わせ先 TEL：0266-79-3030 総務グループ（8：25～17：25）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

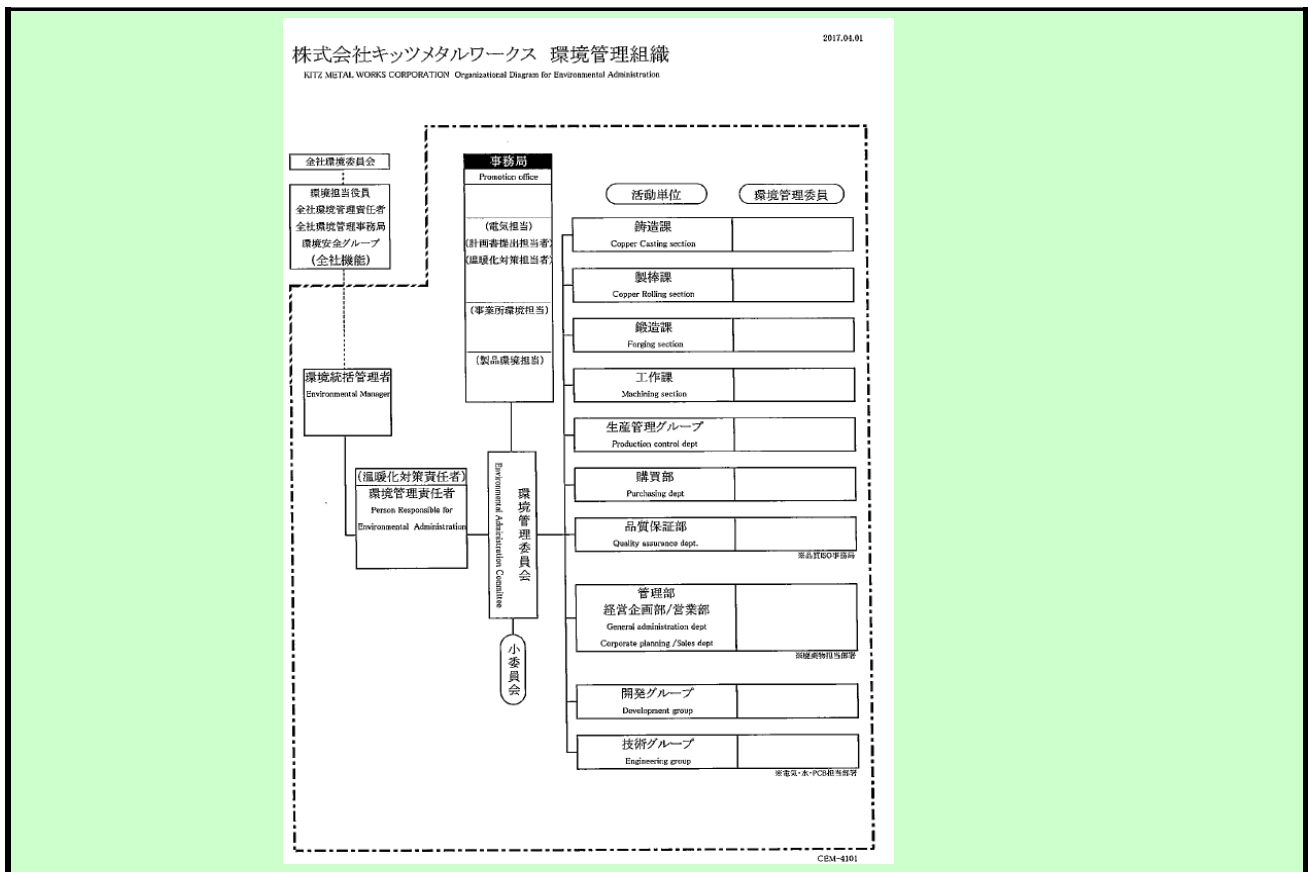
キッツグループ 環境担当役員 環境方針

環境を経営の重要な視点として意識し、一人ひとりの社員が次の施策に積極的に取り組みます。

1. 環境に配慮した商品・サービスの開発と提供
2. 資源の有効活用
3. 廃棄物の削減と再利用・再利用の推進
4. 環境汚染の防止・予防

以上、環境行動方針に基づきコンプライアンスを順守するとともに継続的改善かつ確実に環境マネジメントを推進します。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・ 環境管理委員会 (月1回)
- ・ クリーンキャンペーン開催 (年1回)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	22,693	t-CO ₂	生産量	402.30	単位	百 t	
28 年度	調整後排出量	22,551	t-CO ₂	基準原単位	56.41	t-CO ₂ /	百 t	
目標年度	目標排出量	22,012	t-CO ₂	目標原単位	54.71	t-CO ₂ /	百 t	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31 年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.01	%		
目標設定に関する説明	<p>・3年間で原単位で3%の削減を目指し取り組んでいく。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	23,300	t-CO ₂	生産量	406.20	単位	百 t	
	調整後排出量	23,120	t-CO ₂	原単位	57.36	t-CO ₂ /	百 t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29 年度	削減率	(2.68)	%	削減率	(1.69)	%		
排出量等の増減理由	<p>・平成29年10月に製棒工場にて処理能力アップのため焼鈍設備を大容量化。LPGの原単位が工場全体で10%増となった。また、平成30年1月より鑄造工場の低周波電気炉の変圧器異常のため生産が出来ず、保持電力が増加し電気原単位が3%悪化した。</p>							
第二年度	排出量	23,234	t-CO ₂	生産量	404.40	単位	百 t	
	調整後排出量	23,092	t-CO ₂	原単位	57.45	t-CO ₂ /	百 t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30 年度	削減率	(2.39)	%	削減率	(1.85)	%		
排出量等の増減理由	<p>2019年2月より、増設した製棒工場(第7工場)の設備試運転が始まり使用電力量、LNGの使用量が新たに追加となりました。試運転段階の為、生産重量は0なので電力原単位及びLNGの使用量が新たに追加となりました。工場全体の電力原単位で2.4%上昇、LNG使用量1.92t増加となり、使用エネルギー原単位の改善には至りませんでした。</p>							
第三年度	排出量	22,727	t-CO ₂	生産量	390.13	単位	百 t	
	調整後排出量	22,550	t-CO ₂	原単位	58.25	t-CO ₂ /	百 t	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31 年度	削減率	(0.15)	%	削減率	(3.27)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>2019年2月～9月まで増設した製棒工場(第7工場)の立上・試運転が続き、電力及びLNGの使用量が増加しました。報告対象になる2019年度で4月～9月は電力原単位で6.3%上昇、10月の生産開始後は安定稼働には至らず0.9%増となりました。また、2019年11月より工場全体でLPGからLNGへ完全切替となり、ガス単体ではt-CO₂は前年度比で10.4%減となりました。</p>							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	37	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	370701 不要時の電動力機器の停止	29	22	29	5.7
2	エネ起	380752 LEDの導入	29	22	29	10
3	エネ起	370701 不要時の電動力機器の停止	30	20	30	0.4
4	エネ起	380752 LEDの導入	30	10	30	8.2
5	エネ起	360705 エアー漏れ箇所の修理	31	20		
6	エネ起	370701 不要時の電動力機器の停止	31	26		
7	エネ起	380752 LEDの導入			31	13.3
8	その他 ガス	その他 LPGからLNGへ燃料転換(対象設備全部)			31	453
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	142		180	142	177
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kL以上	1	22,693	1	23,300	1	23,234	1	22,727
1,500kL以上 3,000kL未満								
1,500kL未満								
合計	1	22,693	1	23,300	1	23,234	1	22,727

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1 3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	5	5	3	3
合計	5	5	3	3
自動車総数	5	5	5	5
次世代車導入割合	100	100	60	60

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷便積載率75%以上取組 ・往復便帰り積載率30%以上取組

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2001年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	上水・井水使用量の削減、廃棄物の削減
第一年度実績	上水・井水使用量の削減、廃棄物の削減
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・製造現場直行率向上改善(原単位改善) ・各課使用エネルギー原単位改善活動実施(電気、LPG、燃料) ・バッテリーフォークリフトへ切替、アイドリング時間削減 ・上水、井水使用量削減、廃棄物削減
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・製造現場直行率向上改善(原単位改善) ・各課使用エネルギー原単位改善活動実施(電気、LPG、燃料) ・フォークリフトアイドリング時間削減 ・上水、井水使用量削減、廃棄物削減

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	特になし	
その他		